

違う金融機関に勤務、2日連続で詐欺被害防ぐ

い。客の大切な財産を守った」と感謝していた。
(野田祐治)

安田さん親子に感謝状

岐阜羽島署「万が一考えていた」

安田万里さんとともに感謝状を手にする
博美さん(左) 岐阜羽島署



詐欺被害を未然に防いだとして、岐阜羽島署は岐阜信用金庫東羽島支店(羽島市竹鼻町飯柄)の安田万里子さん(23)、小澤悦子さんと十六銀行笠松支店(笠松町下本町)の安田博美さん(56)に感謝状を贈った。安田博美さん、万里子さんは親子で、2日連続で被害を食い止めた。

署によると、11月11日、40代の女性が「母親の口座から100万円を出金したい」と同金庫東羽島支店に来店。女性が「株で失敗した」と話したため、受け付けた万里子さんは不審に思っ

て上司の小澤さんに相談。警察に通報し、交流サイト(SNS)を通じた投資のロマンス詐欺を防いだ。

翌日の同月12日、博美さんは窓口で、80代の女性から「現金で200万円を引き出したい」と言われた。息子をかたった「オレオレ詐欺」の電話を受けて来店した女性が落ち着かない様子だったため、説得し、高額出金時の全件通報制度に基づいて警察に通報した。

23日に署であった博美さんへの贈呈式に万里子さんも同席。二村智署長から感謝状を受け取った博美さんは「続けてあったことに驚いた」と振り返った。笠松町内で同居しており、11月12日の夕食時にどちらからともなく被害を防いだ話題になり「確認して制度のことで通報することは今後